

仙南歯科医師会だより 第19号

いつも仙南歯科医師会に御協力頂き誠に有難うございます。過日は第2回定例会に御参加ありがとうございました。台風19号に対する対応も少しずつ収束してきており一安心している所です。今後も安定した会務運営を目指しますが、喫緊の課題として事務量の増加が問題となっていました。専務&総務は会員の皆さまに正しい情報伝達をするために従来より一層の資料の充実を図っております。合併により会員数が増えたこともあり事務員の雇用はまさに喫緊の課題としてクローズアップされてまいりました。法人化や事務所の事もかかわる案件ですし、もちろん予算もかかります。早急に専門委員会を立ち上げて事務量増加に対応すべく検討を始めたいと考えております。皆様の御意見もお願いいたします。

令和元年12月末 新年への希望を込めまして
仙南歯科医師会 会長 玉野井 修

令和元年第2回仙南歯科医師会定例会議事録

日時：令和元年12月18日（水）18時～
場所：舞鶴会館
議長：小田部晃二郎常務理事
参加者 35名

1. 開会 専務理事 小屋 博
2. 挨拶 会長 玉野井 修

第二回定例会。台風被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。また、長年歯科医師会の重責を担ってきた亙理昭太郎先生がお亡くなりになりました。時代の大きな変わり目と感じます。仙南歯科医師会は半年が過ぎました。台風などで慌ただしさがありましたが、今後は落ち着いて会務を進めたい。御協力をお願いします。

（議長は、役員会で理事の持ち回りで行うと決まったため、今回は小田部（晃）先生が務める事となった。） 報告を始める前に、亙理昭太郎先生に対し黙祷がささげられた。

3. 報告

1) 各支部報告

- ①柴田（小田部（晃）先生） 定例会について報告。
- ②白石（小野先生） 11/12 白刈地区学校歯科研修会、12/6 支部忘年会の報告。
- ③角田（目黒先生） 台風被害にあった、谷津歯科医院、国保丸森病院歯科が11月中に再開したことを報告。

2) 会長（玉野井先生）： p4 の通り報告。退会された村上健先生からの手紙を披露。

3) 副会長（目黒先生）：

宮歯連盟関連で、県議会の歯科医療協議会に仙南から安藤・高橋議員が入ったとの報告。**診療報酬改定は全体で0.55%プラス改定（医科+0.53%、歯科+0.59%）**との事、働き方改革に120億

の予算が付いた事など報告。

4) 宮歯理事 (小田部 (晃) 先生) :

理事会 (9/26、10/24、11/28)、12/14 合同役員協議会報告。

5) 宮歯常務理事 : 山崎先生・小田部 (岳) 先生欠席のためなし。

6) 専務理事

(小屋先生) : 会務報告 (p1)、12/14 合同役員協議会報告。第 58 回全日本学校歯科医会保健優良校、会長賞に千木良あき子先生が歯科校医の宮城県立角田支援学校白石校が受賞。宮歯衛生学院の次年度新入生が定員を満たす予定である事を報告。新年会 (p23) について確認、報告。

7) 各種委員会

・学術 (榊原先生) : 11/30 学術講演会の報告 (p38)、11/30~12/1 東北地区歯科医学会報告。2 月に宮歯会員発表があり、宮歯より発表について強い参加協力要請があるとのこと。

・在宅歯科 (武者先生欠席のため榊原先生より) : 委員会報告 (p37)、2/20 大河原多職種連携の会予定。

・会計 (佐藤 (郁) 先生) : **上半期会計報告** (p18~21)、休日当番事業委託料の行政からの振り込みの状況報告。小野監事より上半期の会計監査報告。

・学校歯科 (西村先生) : **学校健診データ (p28~30) 報告**。近年の日本学校歯科医会会長表彰者について (p31)。今年度の受賞者は亙理滋先生。令和 2 年度学校歯科医名簿作成について説明 (p33)。

・地域保健 (飯淵先生) : 上半期休日当番実績 (4~9 月) は柴田郡 253 名、白石角田 218 名の計 471 名であったと報告。11/21 休日当番編成会議の報告。**来年度休日当番表 (案) (p41) 周知、変更希望は 1/11 まで**と説明。休日当番については、9~17 時までの対応であり休憩は各医院の裁量に任せるが、休憩中でも電話対応はできるようにしてほしいとの事 (苦情があったとの事)。令和 2 年度の歯と口の健康週間行事準備委員会の報告 (p35)。

・社保 (森先生) : 12/5 新規指導立ち合いについて報告。12/21 地区担当者会出席予定。

・医療管理 (小田部 (晃) 先生) : 11/20 研修会報告 (p27)。**結核検診報告書の提出**について説明 (別刷資料)。後日再度会員周知する事となった。

・広報 (小田部 (岳) 先生欠席)

8) みやぎ県南中核病院口腔外科 (伊藤 (正) 先生) : なし。

9) みやぎ訪問歯科・救急ステーション (奥田先生欠席)

10) その他

・**税務講習会について**周知 (菅野)

・協同組合について (山家先生) : 収入減。今年度は支出を抑えたが、会員の皆さんにはぜひ活用してほしい。

4. 協議

1) **大規模災害**に対する会の対応について

・反省点として、災害対策本部 (p15) が機能しなかった。今後、災害発生時は速やかに対策本部を立ち上げる事となった。

・共済について (p16) : 会則に基づき、**共済会計より拠出**。

・**10/23 までの活動に対する費弁** : 災害救助法適応期間が 10/24~11/8 であるため、それ以外の期

間に活動していた先生方へ p17 の通り費弁を**一般会計より拠出**。

・**角田事務局（目黒歯科クリニック荒茂美さん）への謝礼**：災害発生時より現在に至るまで連日被災地で活動。行政、仙南歯科医師会、宮歯などの連携の中心として尽力。感謝状と若干の謝礼を新年会でお渡しする事とした。

・現在も週一回、奥田先生が丸森町避難所訪問を継続中。

・**他地区より見舞金（仙台歯科医師会 30 万、岩沼歯科医師会 30 万、塩釜歯科医師会 10 万）**については被害の大きかった会員へお渡しする形を検討中。

2) 今後の会務運営、予算について

・四役会報告（11/26 開催、p5）：①**役員会第一水曜日へ変更**、②予算の収支は黒字（余剰金は一般会計へ）、③**早急な事務員雇用の検討（専門委員会の立ち上げ）**、④小田部岳雄先生の宮歯常務就任に伴い、広報委員長変更予定（R2 年 4 月より）、等を報告。

3) その他 なし

6. その他

台風被害の共済金が各支部長に渡された（白石は村上先生のみであるため、御本人へ手渡された）。

7. 閉会 副会長 目黒 一美

長時間の審議、有り難うございました。台風 19 号に関しては、色々な体験をさせて頂きました。DMAT などは 48 時間以内に必要とされ発災初期に活動するが、歯科医療救護のニーズは 3 日過ぎてから急増してきました。どうしたら良いか、会長・専務と毎日連絡をとりながら、とりあえず対応しました。医療救護班に手を挙げてくださった 12 名の先生方、有り難うございました。これにて閉会とします。有り難うございました。

（議事録 菅野真人）

仙南歯科医師会が発足いたしまして約 10 ヶ月が経ち、今年度も 3 か月余りとなりました。今年を振り返りますと、仙南歯科医師会の事業の確立とルーチン化、台風 19 号の対策等であつと言う間に過ぎた感じがします。今後数年は会の組織の体制作りに時間が掛かると思いますが、会務の簡素化、会員の皆様の僅かな協力で出来る運営を目指したいと個人的には思っております。

1 月 18 日仙南歯科医師会新年会、2 月 7 日の税務講習会、3 月末の点数説明会が今年度の主だった行事となります。3 支部の垣根を越えて、更なる親睦も図るためにも多数の会員の皆様の参加を希望しております。

災害はあるものと心積もりはしておりますが、来年は無事に平穏な 1 年である様祈願したいと思います。

（小屋 博 記）